

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和56年9月1日

第21報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanocapsa</i> sp.*	20		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	40		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *	720		○
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> var. <i>crassa</i> *	220		
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp.*	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	1060	○	
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i>	80		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	8520	◎	◎
(緑) <i>Scenedesmus denticulatus</i>	80		
(緑) <i>Scenedesmus quadricauda</i>	80		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	40		
(藍) 藍藻綱	1020	9.2	34.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1160	10.5	8.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	0.7	0.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	8820	79.6	56.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	11080	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	1.85E+07
種類数	15		

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	8520

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	1060

### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ピフクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピフクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Melosira granulata***  
(メロシラグラヌラータ)  
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。